



## 生活・環境

### 不公平なごみ収集方法に 異議あり！

神近 寛 議員

**Q** 大村市のごみ収集には、家の前に出す「個別収集」と、集積所まで運ぶ「ステーション収集」がある。市民の行政への協力は大事だが、長年続くその不公平さに不満の声も聞かれる。試算すると、ステーション方式に協力している世帯は年間約5,500円の経費節減に協力していることになる。そろそろ見直す時期がきているのではないか。

**A** 市の方針としては、今後もステーション方式によるごみ収集を進めていきたい。ステーション方式に協力している市民は、市に1億円以上の経費節減効果をもたらしていることから、新年度にはインセンティブの付与に取り組みむ方向で、ぜひ進めたい。

### 「海の海」再生に下水道 処理水の高度処理を

川添 勝征 議員

**Q** 大村湾は様々な努力できれいになった。しかし、「海水の富

栄養化問題」は解決されていない。地球温暖化の影響もあるが、今年のなまこやかきの漁獲高はゼロである。このままでは、漁業者が大村市にいたなくなる危機を感じている。根本的な解決策である「下水道処理水の高度処理」を何年後を目途に実施するのか。

**A** 大村浄水管理センターの下水道処理の高度処理については、早期実現のため、平成27年度当初予算に、事業計画の認可を取得するための業務委託費を計上している。実施時期については、事業の認可を取得していないため明確な回答はできないが、上下水道局としては、2年を目途に工事に着手できるように現在進めている。



## 福祉・医療・保健

### 認知症総合相談センターで 徘徊対応は可能か

三浦 正司 議員

**Q** 平成27年度に開設される認知症総合相談センターは、相談だけの組織なのか。また、徘徊等で行方不明になった人達への対応はどのように考えているのか。また、徘徊者等の対応は同センターで行うのか。

**A** 認知症総合相談センターについては、相談だけではなく徘徊等の通報も受けることになることを考えている。また、徘徊等による行方不明者への対応については、警察や郵便局等関係機関で大村市高齢者見守りネットワークを組織しており、今月末には大手コンビニと、新年度には生活協同組合やタクシー会社等と協定を締結するよう進めている。また、徘徊者等への対応については、同センターだけではなく、長寿介護課全体で対応していきたいと考えている。

### 国民健康保険税を 引き下げよう

宮田 真美 議員

**Q** 高すぎる国民健康保険税に「払いたくても払えない」と困難を抱えている市民の負担を軽くするため、また税金の滞納やそれに伴う差し押さえを減らしていくためにも、国民健康保険税の引き下げをお願いしたい。

**A** 国民健康保険税については、とりわけ低所得の加入者の方には非常に長年にわたりご苦労をおかけしていることは承知しており、市長任期中に国民健康保険税を引き上げないことを第一にしなからず、国民健康保険税を引き下

げている先進地などをよく研究し、引き下げの可能性を探っていききたい。

### 子ども医療費の現物給付を 実現してほしい

宮田 真美 議員

**Q** 子ども医療費の助成を現行の代理申請方式から現物給付にしてほしいというのは、市民の声。今、子育て世代はゆとりのない中、一所懸命に子育てをしている。安心して病院にかかれるよう現物給付を実現してほしい。また、経済的に困難を抱えている世帯へは、どのような支援を検討されているのか。

**A** 子ども医療費の助成については、現行の代理申請方式を当分継続する。しかし、議会や市民の一部からも現物給付を希望する声が出ているため、現物給付を将来にわたって一切しないということではなく、調査、研究し、総合的に判断していきたい。また、経済的な問題等のある方への対応については、引き続き検討していく。

